

SECURA

QST25 テレビ壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 16kg 以下のフラットテレビ取付用 -----

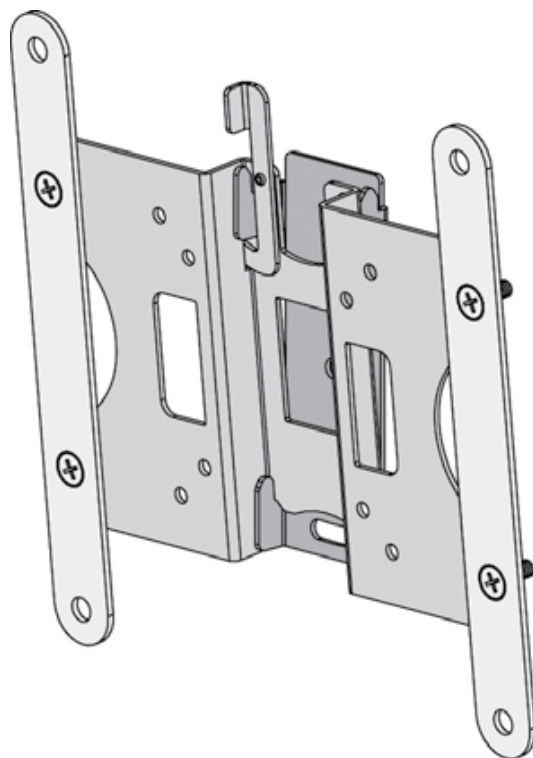
この度は、QST25 フラットテレビ壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
QST25 は 10V 型～ 39V 型のフラットテレビの壁面取付用金具です。
設置の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の設置の際は、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別な技術が必要です。設置の際は本取扱説明書をよくご覧の上、設置作業を行って下さい。取付け不備や、取扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



SECURA 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒 559-0031 大阪市住之江区南港東 1 丁目 2-1 6

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。QST25壁掛金具は、10V型～39V型で、総重量16kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上のフラットテレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の(鉄骨やコンクリートブロック製などの)壁面には取り付け出来ません。この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対に使用しないで下さい。



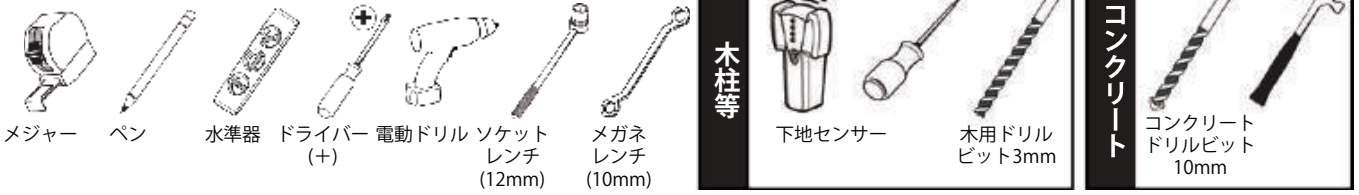
壁掛金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



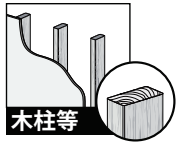
仕様

耐荷重 : 16kg (テレビと付属品を含みます) 適応テレビサイズ: 10V型~39V型

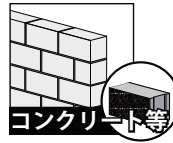
※上記を超過しないようにして下さい。

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



- ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
- ★ しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



- ★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
- ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品類

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

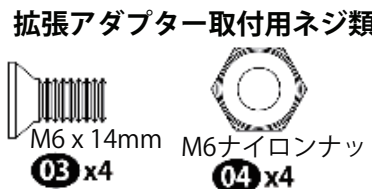
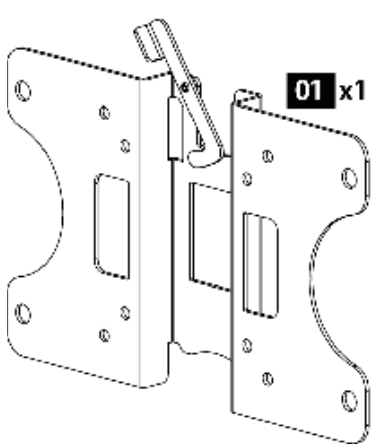
組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記: M4, M6又はM8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。 また、付属の部品をすべてを使用するわけではありません。

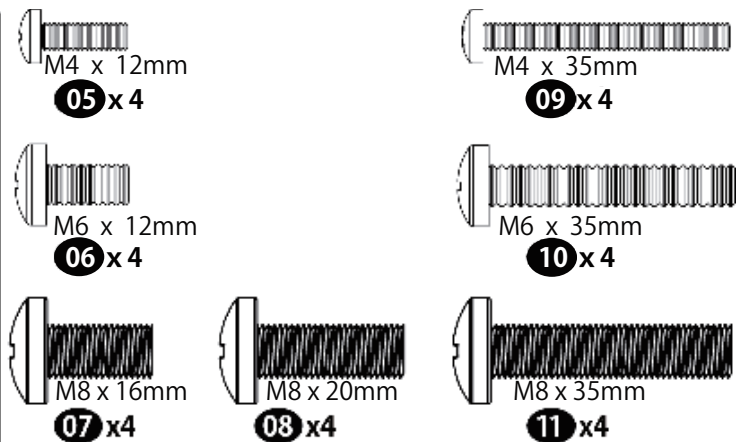
TVブラケット

拡張アダプター

TV取付ネジ類

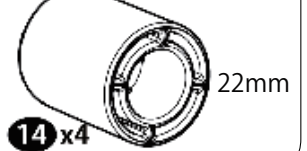


ナイロンナット (ロックナット) は通常のナットより強く締め付けてください。



TV取付ワッシャー

TV取付スペーサー

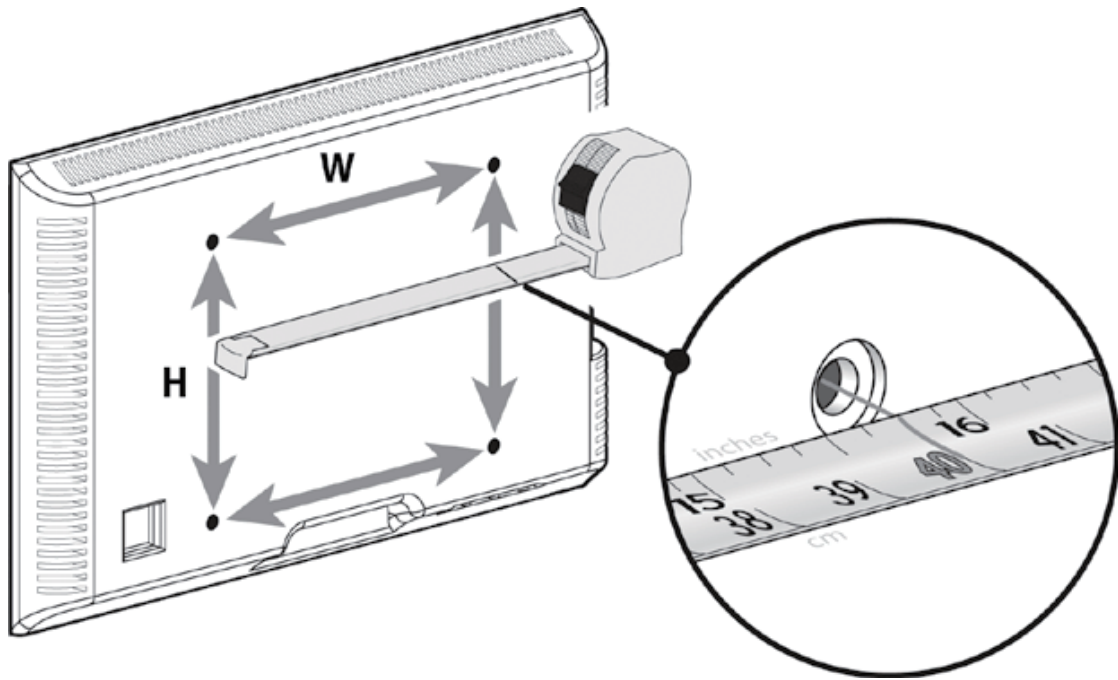


STEP 1 マウントパターンを確認する

1-1 テレビのマウントパターンを確認します

下図のように、お持ちのテレビの背面にある壁掛けテレビ用取付穴の上下・左右のねじ穴の間隔を確認します。

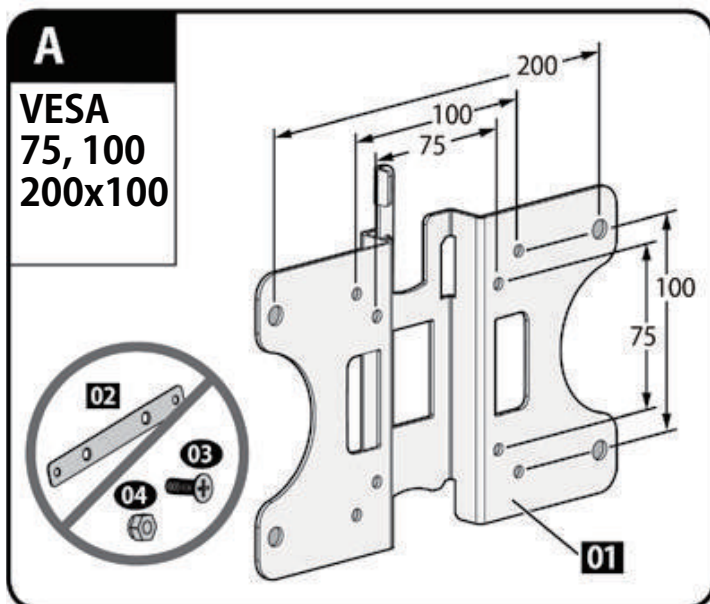
QST25 は W75 又は 100 又は 200 (mm) H75 又は 100 (mm) に対応します。さらに、拡張アダプター [02] を利用することにより H200mm に対応できます。(VESA 規格 VESA75, 100, 200x100, 200)



1-2 TVブラケットの取付穴の位置を確認します。

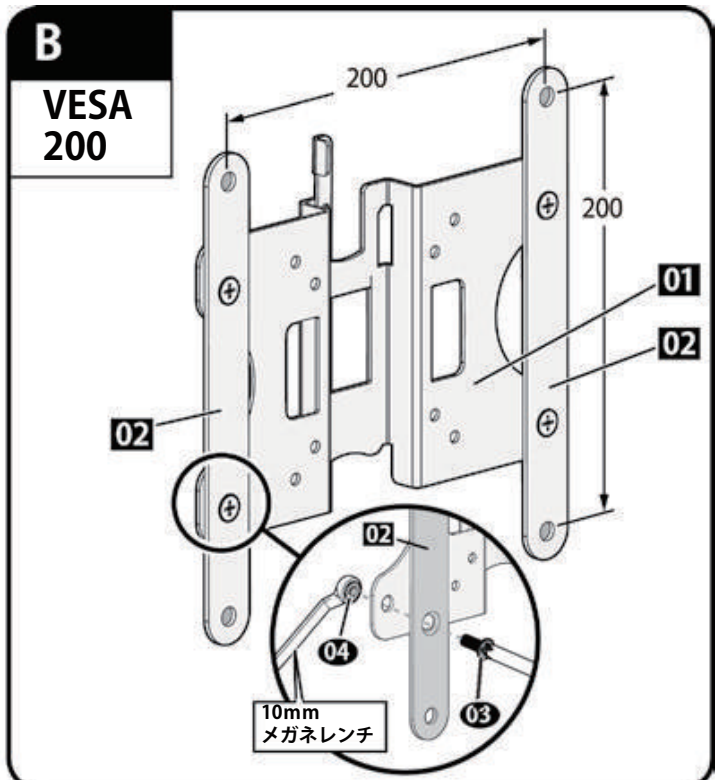
A) W75 又は 100 又は 200 (mm) で H75 又は 100 (mm) の場合 (VESA75, 100, 200x100)

下図のように拡張アダプター [02] および拡張アダプター用ネジ類 [03] [04] は使用せずに取付けできます。



B) W200mm で H200mm の場合

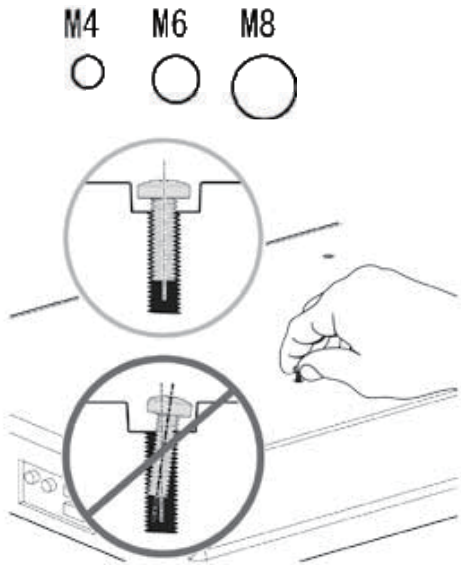
下図のように拡張アダプター [02] および拡張アダプター用ネジ類 [03] [04] を使用して取付けできます。



※ M6 ナイロンナット (ロックナット) は内部にナイロン樹脂を装着したゆるみ止め構造のために、しっかりと締め付ける必要があります。

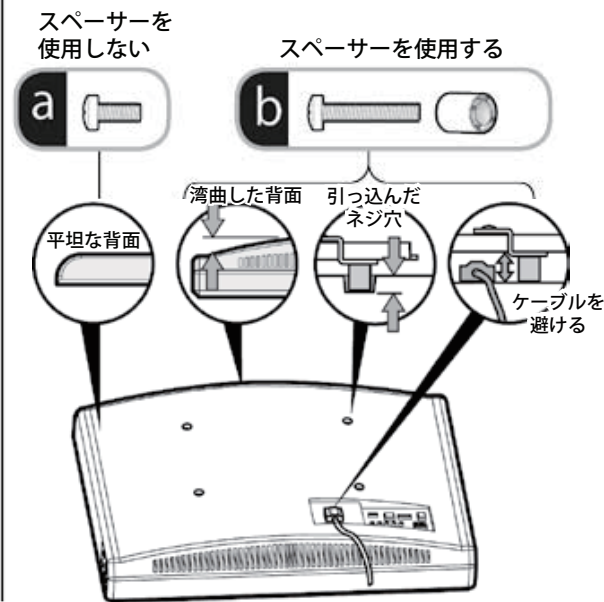
1-3 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が変わります。テレビの背面のネジ穴に手でネジをねじ込んで試し、正しいネジの直径 (M4、M6 または M8) を選択します。



1-4 スペースの選択と取付方法

壁掛金具をご使用になるテレビの背面が平坦かどうか、壁面とテレビの間にケーブル類を配置するためのスペースが必要かどうかを確認します。

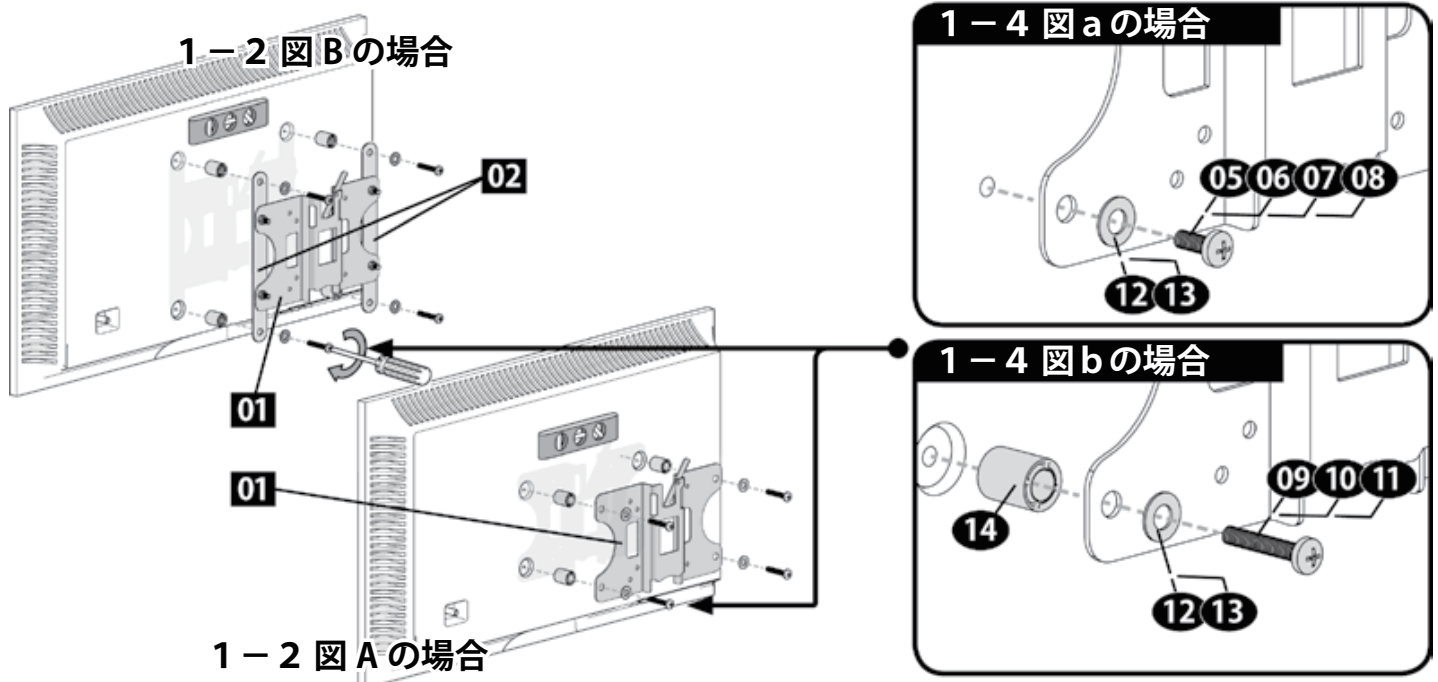


⚠ 注意:
同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

⚠ 注意:
ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせ、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。

1-5 テレビにブラケットを取付ける

4ページの「STEP1 マウントパターンを確認する」で確認したマウントパターンに従って「1-2 図Aの場合」もしくは「1-2 図Bの場合」の図に従い、また、上記1-4図の障害物などの有無により「1-4 図aの場合」もしくは「1-4 図bの場合」の図に従いテレビブラケットを取り付けてください。

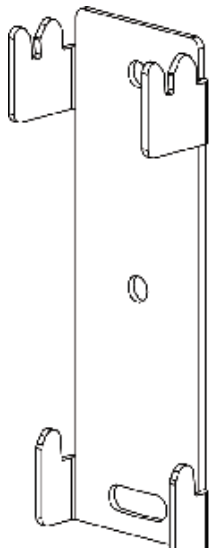


STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁 に取り付ける場合は、6 ページのSTEP 2A に従って固定します。

コンクリート壁 に取り付ける場合は、7 ページのSTEP 2B に従って固定します。

STEP 2 で使用する部品類

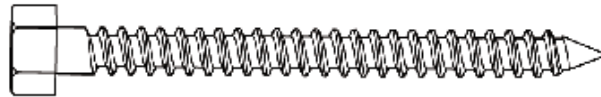


15 x1 壁掛金具



警告: 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。



16 x2 ラグボルト

コンクリート壁専用



注意: 木柱には使用しない



17 x2 コンクリートアンカー

注記: 付属の部品をすべて使用するわけではありません。

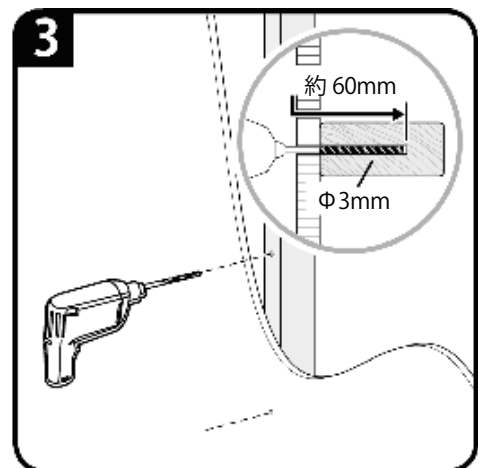
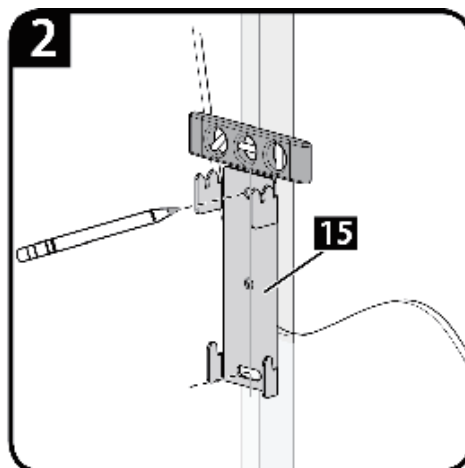
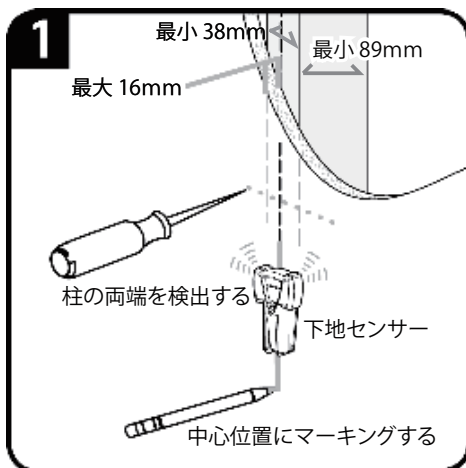
STEP 2A 壁掛金具を取付ける



木柱への取付例

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと、壁掛金具の総重量の5倍の重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

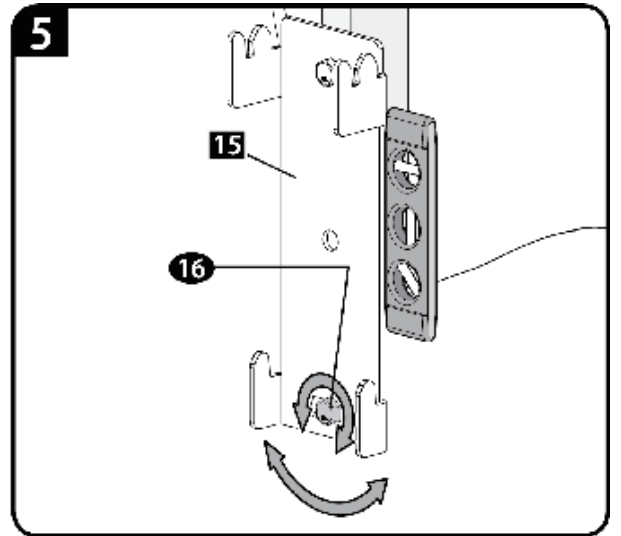
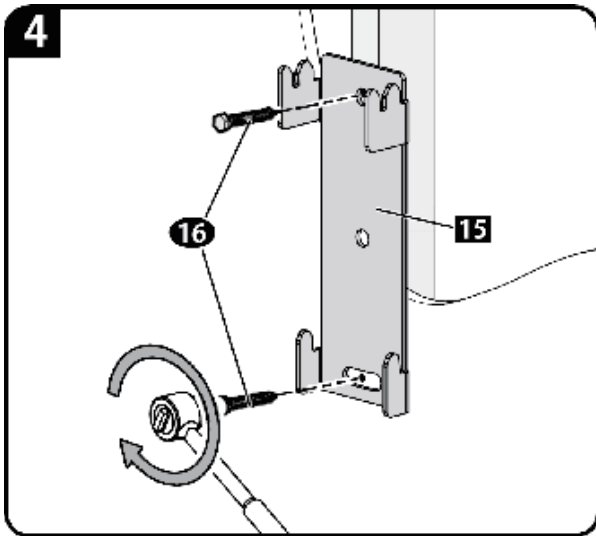
- 施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm 以下にしてください。
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。



注記: 下地センサー (木柱センサー) は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。

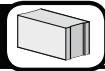
下記の1~3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、右図のように柱の位置を確認します。下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。二つのマーキング (両端) から柱の中心位置にマーキングを付けます。
2. 壁掛金具 [15] を、図のようにご希望の高さに置き、取付穴の位置を柱の中心線上になるように仮配置します。壁掛金具 [15] を市販の水準器で水平度を確認し、2箇所の下穴を空ける位置にマーキングをします。
3. 2. で付けたマーキングの位置に下穴をあけます。下穴は、3mm 径のドリルビットを使って約 60mm の深さに2か所開けます。



4. 壁掛金具 [15] を下穴に合わせて柱に配置し、ラグボルト [16] で固定します。この時、下側のラグボルト [16] は仮止め程度にゆるく締めておきます。
5. 壁掛金具 [15] に水準器をあて水平を確認し、下側のラグボルト [16] をしっかりと締め付けて固定します。

STEP 2 B 壁掛金具を取付ける

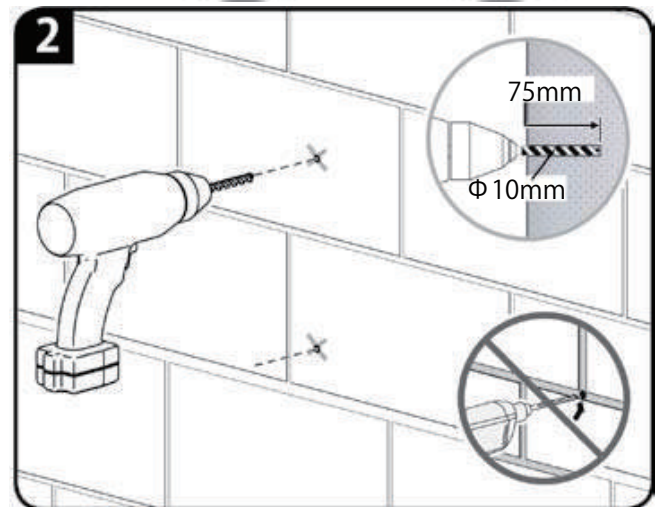
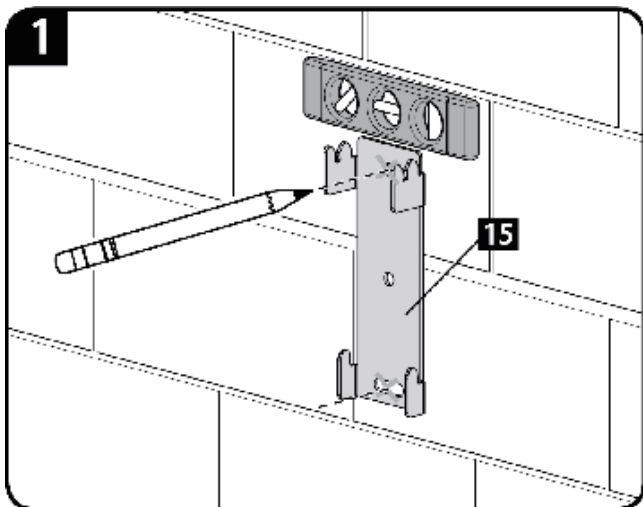
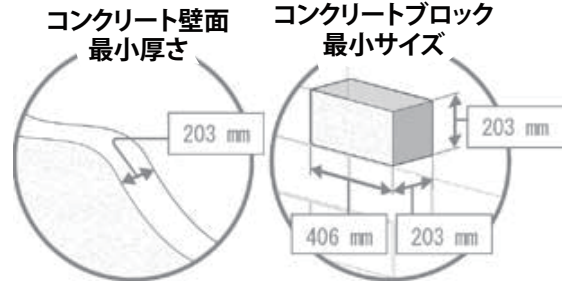


コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みのコンクリート壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故が発生する場合があります。

- 施工の条件：
- ★ 壁掛金具[15] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。
 - ★ コンクリート壁面の使用可能な最小の厚さは、203mm 必要です。
 - ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
(空洞のあるものには使用できません。)



1. 壁掛金具 [15] を、図のようにご希望の高さに置き、市販の水準器で水平度を確認し、2箇所の下穴を開ける位置にマーキングをします。
2. マーキングした位置に下穴を開けます。下穴は、10mm 径のドリルビットを使って約75mm の深さに2箇所開けます。

注意: 取付け穴の強度が保てないので、ブロックの間のモルタル部分には決してドリルで穴を開けないでください。

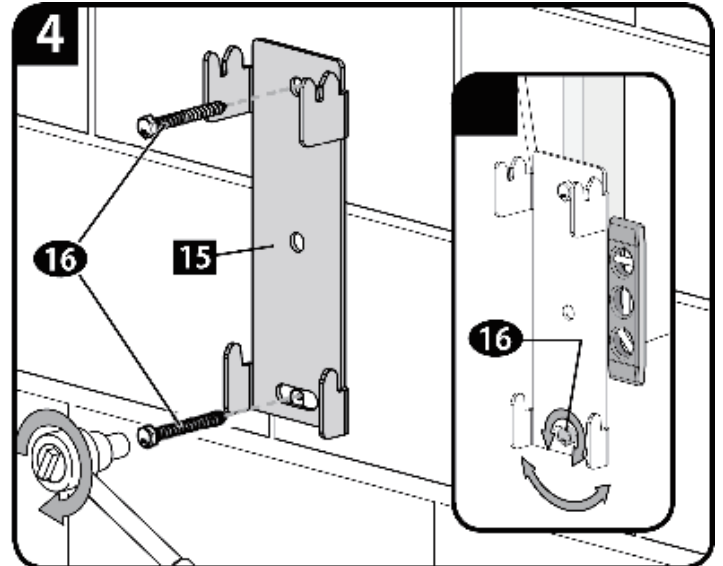
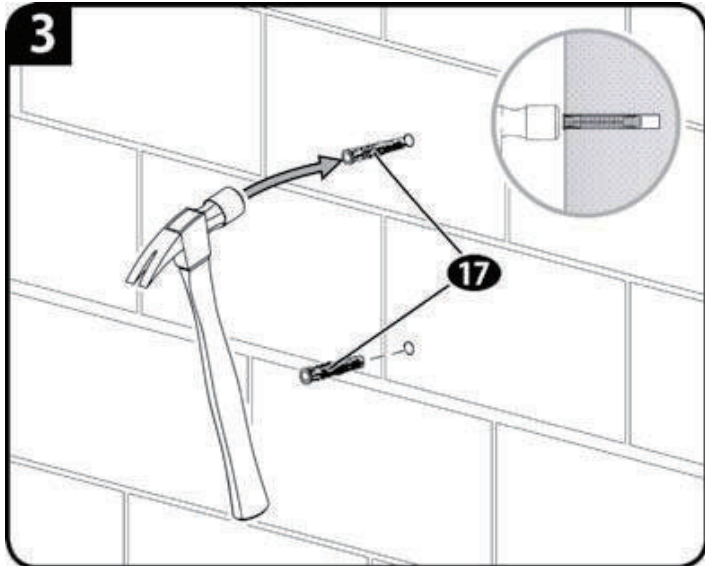
3. 下穴に2個のコンクリートアンカー [17] を挿入します。

! 注意 :コンクリートアンカー [17] は、コンクリート壁面と面一（つらいち）になるようにハンマーで最後まで打ち込んで下さい。

4. 壁掛金具 [15] を下穴に合わせて柱に配置し、水準器で水平を確認しながらラグボルト [16] で固定します。この時、下側のラグボルト [16] は仮止め程度にゆるく締めておきます。

! 注意 :ラグボルトは締め付けすぎないで下さい。壁掛け金具本体に引き込まれる程度とします。

5. 壁掛金具 [15] に水準器をあて水平を確認し、下側のラグボルト [16] をしっかりと締め付けて固定します。

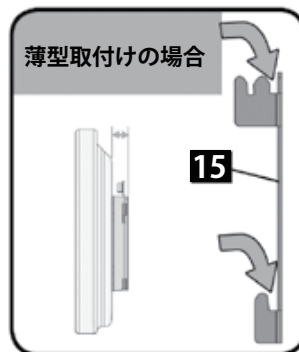
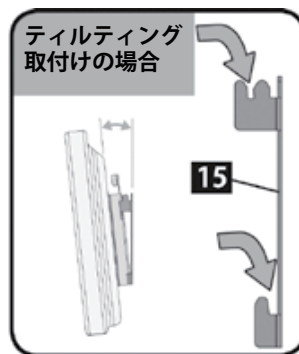
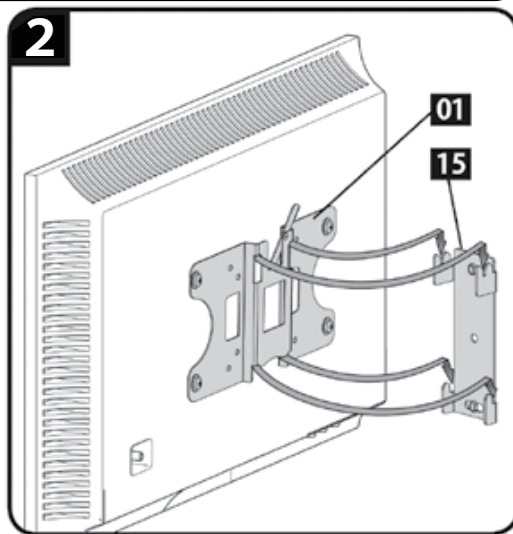
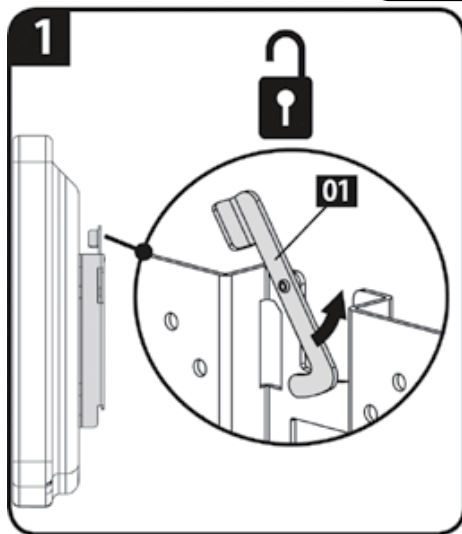


STEP3 テレビを壁掛金具に取付ける

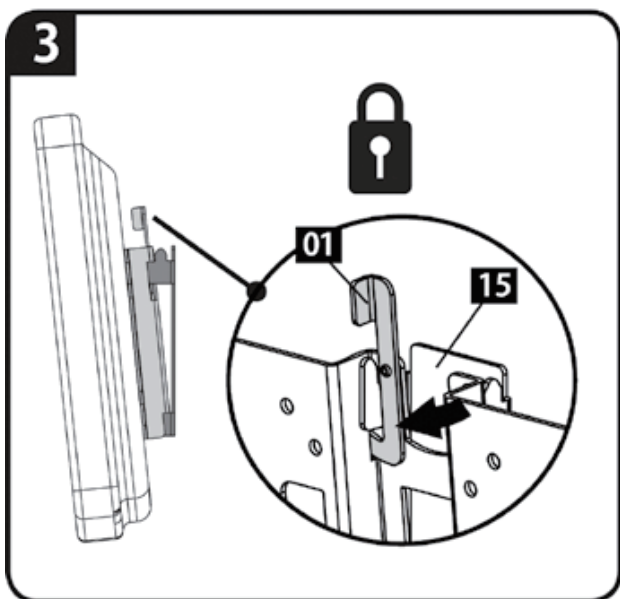


注意 重量があります！
この作業は二人以上
で行ってください。

QST25 はテレビを壁から 6 度傾けて取付ける **ティルティング
取付** と壁にぴったりと添わせて取り付ける **薄型取付け** を選択
できます。



1. 壁掛け金具 [15] に TV ブラケット [01] を取り付ける前に、図の位置にある TV ブラケット [01] のロック機構解除しておきます。
2. テレビに取り付けた TV ブラケット [01] の上部を、壁掛け金具 [15] の目的のスロットにあわせて上下の金具を引っかけます。



3. 最後に、1. で解除したロック機構をしっかりとかけてください。

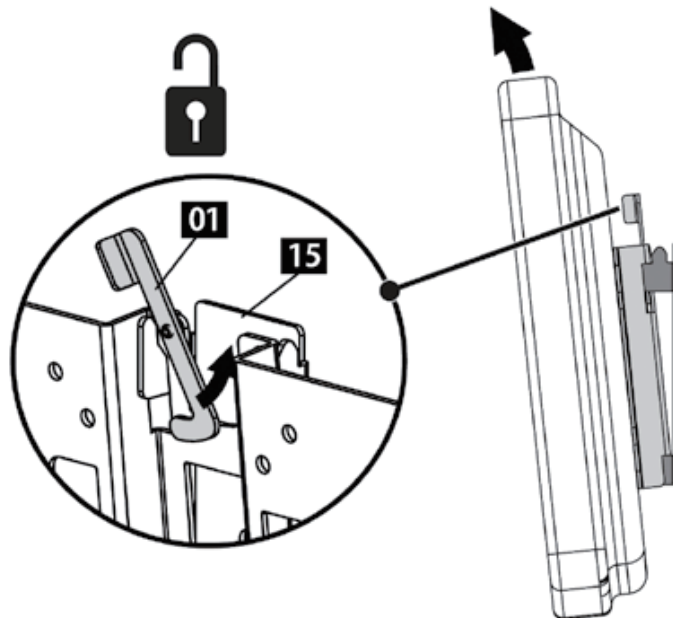
STEP4 テレビの取り外し



注意

重量があります！
この作業は二人以上
で行ってください。

重量があります！
この作業は二人以上
で行ってください。

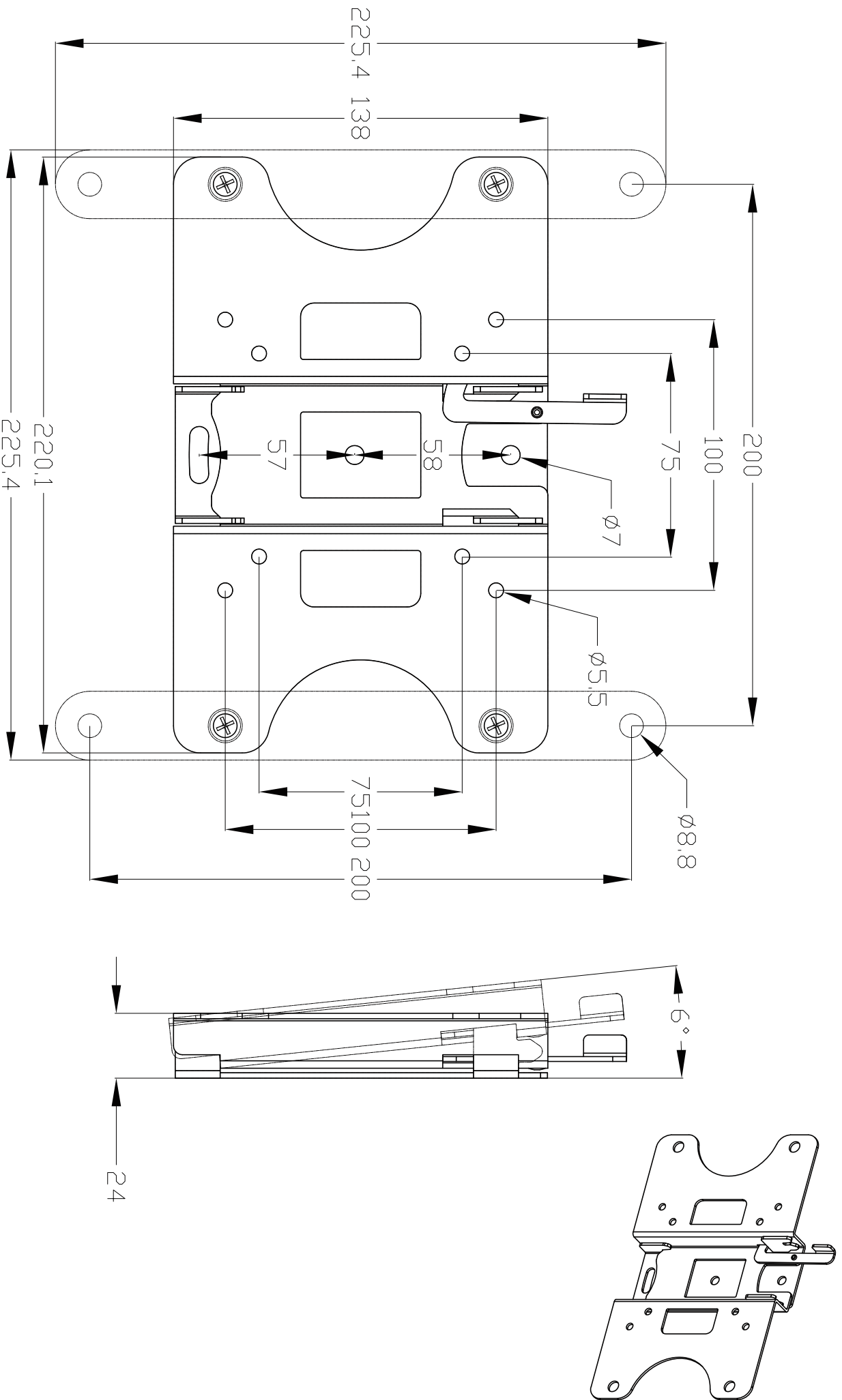


Memo

A large rectangular area with rounded corners, containing 25 horizontal lines for writing. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page, providing a template for a memo or note.

外觀圖

單位：mm



SECURA